

第3回茨城県男女共同参画審議会の結果

1 日時 8月27日(木)14時～

2 場所 茨城県庁5階会議室

3 結果

① 新たな男女共同参画基本計画の骨子について

「女性の活躍による農山漁村の活性化」という文言を入れることにより、農山漁村における男女共同参画の推進のところを「女性」をしっかりと出していく。

ほか、意見なし。

② 次期茨城県男女共同参画基本計画の中間とりまとめ素案について

素案については、下記のとおり意見により修正後、了解を得て確定する。

(主な意見)

(林副委員長)

意思決定の場に女性が参加するというのはこれから大事なことで、特に政策・方針決定過程の中で一番重要なのが政治参加。日本が特に遅れているところだと思う。ここに注目しているということを示すことは重要かと思う。

(県)

増やす必要があるということをしっかり書くということが重要。

(青木(雅)委員)

「【図6】本県における年齢3区分人口の推移と将来推計人口(茨城県)」として人口推移についての数値表がある。少子化、高齢化ということで、出生数が減っているというのはよくわかるのだが、いわゆる「人口ピラミッド図」もここには入れたほうが分かりやすいと思う。

(県)

数値表でなく、人口ピラミッド図に修正。

(小田部委員)

「2連携の強化 (1) 県民との連携」のなかに、「意思決定過程における県民との連携を図ります」とあるが、この表現で良いのだろうか。パブリックコメントの実施などにより県民の声を反映させていく、ということであれば、「意思決定過程における県民の声を積極的に反映していきます」といったような記載のほうが分かりやすいとも思う。

(田山委員)

39 ページの図表、第1子出産のところ、ここの最新データが平成17～21年までの数字となっている。出典が平成25年度の白書だからか。平成27年度の白書に最新の数値が載っているということはないか。

(県)

27年版に訂正。

(中山委員)

「【図21】女性管理職がいる民間企業の割合（茨城県）」について、何らかの最新のデータは掲載できないだろうか。

(県)

最新のデータに修正。

(川澄委員)

つい最近、目にした単語なのだが、パタニティ・ハラスメント（上司や同僚による、育休取得をはじめ、男性の育児参加を阻むような言動）という言葉もあるようだ。